

前回部会(平成31年3月28日開催)内容の整理

○ 小天守入口部の復旧方針を報告

- ①一部の石垣で構造補強(図1参照)
- ②入口部にスロープ設置(図2参照)

※ 大天守出口(附櫓階段)手摺構造について、確認のご意見あり。
(ご意見を受け、次ページ以降の資料にて今回内容説明)

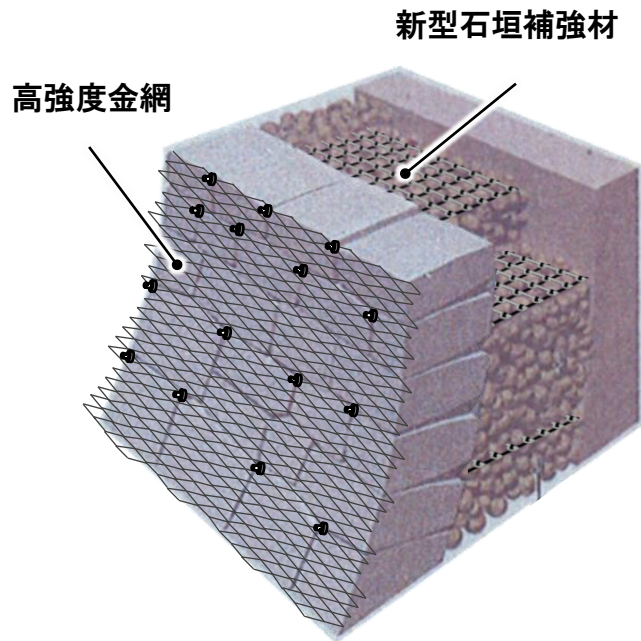


図1 石垣補強イメージ

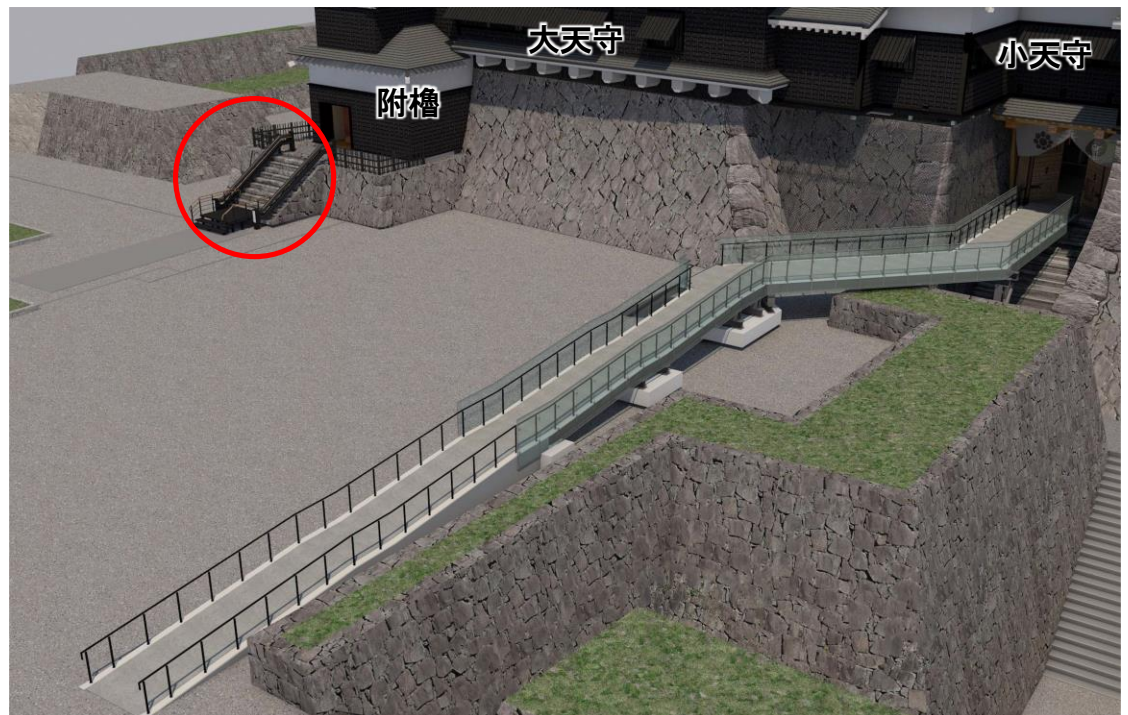


図2 小天守入口部スロープイメージ

大天守附櫓階段手摺について

○ 条件整理

- ①附櫓から外側への階段も含め、元々存在したものではない
- ②昭和35年の天守閣再建に伴い設置されたもの(図3参照)



図3 天守閣再建に伴い設置した手摺

大天守附櫓階段手摺について

○ 手摺構造について(方針)

復旧の方針として、2案考えられる

①原形復旧案・・・熊本地震直前の構造に戻す(図3参照)

②高欄ガラス案・・・小天守入口部のスロープ手摺構造と合わせる(図4参照)

⇒ 築城当時に存在したものではなく、復旧される天守閣全体外観(小天守入口スロープ)と統一感を出すため、高欄ガラス案とする



図4 大天守出口部高欄ガラス案イメージ